

文献目録
モンゴル語

全般

- ・ Janhunen, Juha. 2006. *The Mongolic Languages*. Routledge.
- ・ Төмөр тогтоо, Д. 2002. *Монгол хэл шинжлэлийн онол, түүхийн асуудлууд*. Улаанбаатар.
- ・ Poppe, N. 1955. *Introduction to Mongolian Comparative Studies*. Mémoires de la Société Finno-Ougrienne No. 110.
- ・ 栗林均. 1992. 「モンゴル諸語」 亀井孝ほか編『言語学大辞典 第4巻』. 517-526. 三省堂.
- ・ 斎藤純男. 2012. 『モンゴル語史研究入門』 [草稿2012年版] 東京学芸大学.
- ・ 蒙古学百科全書編集委員会編. 2004. 『蒙古学百科全書 語言文字巻』 内蒙古人民出版社.

音声・音韻

- ・ Svantesson, J. O., A. Tsendina, A. Karlsson, and V. Franzén. 2005. *The Phonology of Mongolian*. Oxford University Press.
- ・ 服部四郎. 1951 「蒙古語チャハル方言の音韻体系」 『言語研究』 19/20:68-103.
- ・ 栗林均. 1981. 「現代モンゴル語における『唇の調和について』」 『一橋研究』 6(2): 98-112.
- ・ ———. 1988. 「モンゴル語における弱化母音の発達と閉音節化現象」 『音声の研究』 22: 209-223.
- ・ 角道正佳. 1982. 「ハルハモンゴル語のピッチアクセント」 『大阪外国語大学学報』 56: 31-49.
- ・ 植田尚樹. 2019. 『モンゴル語の母音』. 京都大学出版会.
- ・ Goldsmith, John. 1985. Vowel Harmony in Khalkha Mongolian, Yaka, Finnish and Hungarian. *Phonology Yearbook* 2: 253–75.

- ・ Stuart, Don Graham, and Matthew M. Haltod. 1957. The Phonology of the Word in Modern Standard Mongolian. *Word & World* 13 (1): 65-99.
- ・ Karlsson, Anastasia M. 2005. Rhythm and Intonation in Halh Mongolian. Lund University.
- ・ ———. 2007. Mongolian Intonation (Current Trends in Intonational Research on Chinese, Korean, Mongolian, German and French). *Journal of the Phonetic Society of Japan*. 11 (2): 28-39.

形態論

- ・ 塩谷茂樹. 2007. 『モンゴル語ハルハ方言における派生接尾辞の研究』.(大阪外国語大学学術研究叢書35).
- ・ 山越康裕. 2003. 「モンゴル語の複数接尾辞と名詞句階層」 『言語研究』 124:131-153.
- ・ Kubo, Tomoyuki. 1997. Reduplication Meduplication in Khalkha Mongolian. *GENGO KE NKYU* 112: 66-97.
- ・ 一ノ瀬恵. 1992a. 「モンゴル語の複合語の音韻的特徴」. 『北方文化研究』 21:105-119
- ・ ———. 1992b. 「モンゴル語の語構成における非接尾辞的手法：北方の接尾辞型言語との対照を通じて」宮岡伯人（編）『北の言語：類型と歴史』.279-295. 三省堂
- ・ 栗林均. 1986. 「モンゴル語の動詞活用体系」 『国文学 解釈と鑑賞』 至文堂. 51(1): 140-142.

統語

- ・ 梅谷博之. 2008. 「モンゴル語の使役接辞-Uulと受身接辞-Gdの意味と構文」.東京大学博士論文.
- ・ 呉人徳司. 2006. 「モンゴル諸方言における受身と使役について」 「ユーラシア諸言語の研究」刊行会（編）『庄垣内正弘先生退任記念論集 ユーラシア諸言語の研究』 「ユーラシア諸言語の研究」刊行会. 81-92.

- ・ Brosig, Benjamin. 2014. *Aspect, Evidentiality and Tense in Mongolian : From Middle Mongol to Khalkha and Khorchin*. Department of Linguistics, Stockholm University.
- ・ Janhunen, Juha A. 2012. *Mongolian*. John Benjamins.
- ・ Kullman, Rita and D. Tserenpil. 1996. *Mongolian Grammar*. Jenco Ltd.
- ・ Robert I, Binnick. 1979. *Modern Mongolian: a transformational syntax*. Toronto: University of Toronto Press.
- ・ Street, John C. 1963. *Khalkha Structure*. Bloomington.

意味論

- ・ 橋本邦彦. 2015. 「モンゴル語の補語の意味論 - 格と述語との意味役割の一致について」『北海道言語文化研究』 13: 49-102.
- ・ ジンガン. 2010. 「モンゴル語のモダリティ コーパスに基づく記述的研究」東京外国語大学博士論文.

語彙

- ・ Clauson, Gerard. 1962. *Turkish and Mongolian Studies*. The Royal Asiatic Society of Great Britain and Ireland.
- ・ Ferdinand D. Lessing et al. 1973. *Mongolian-English Dictionary*. University of California Press.
- ・ 新蒙漢詞典編委会編. 1999. 『新蒙漢詞典』 商務印書館.
- ・ 拉西東日布. 1989. 『学生蒙古語詞典』. 内蒙古教育出版社.
- ・ 内蒙古大学蒙古学研究院蒙古語文研究所. 1999. 『蒙漢詞典（増訂本）』 内蒙古大学出版社
- ・ Charles Bawden. 1997. *Mongolian-English Dictionary*, Kegan Paul International.
- ・ Rybatzki, Volker. 2006. *Die Personennamen und Titel der mittelmongolischen Dokumente: Eine lexikalische Untersuchung*. The Institute of Asian and African Studies .

文字

- ・ Шагдасүрэн. 2001. *Монголчуудынүсэгбичгийнтовчоон*. Улаанбаатар.
- ・ 栗林均. 2019. 『華夷訳語（甲種本）の研究』松香堂書店.
- ・ 斎藤純男. 2003. 中期モンゴル語の文字と音声. 松香堂.
- ・ 大竹昌巳. 2020. 「契丹語の歴史言語学的研究」. 京都大学博士論文.
- ・ 中野美代子. 1971. 『砂漠に埋もれた文字—パスバ文字のはなし』塙書房.
- ・ 樋口康一. 2000. 「蒙古文字」『言語学大辞典 別巻 世界文字辞典』三省堂.

歴史言語学

- ・ 服部四郎. 1941. 「蒙古語の口語と文語」『蒙古学報』2: 134-191.
- ・ 服部四郎. 1959. 「蒙古祖語の母音の長さ」. 『言語研究』36: 40-54.
- ・ Hattori Shiro. 1972. Initial Plosives of Proto-Mongolian and their Later Developments with Two Additional Remarks: I. Phonemicization of Monguor, II. On the Original Text of the Yuan-ch'ao Mi-shih-. *Gengo no Kagaku* 3: 63-92.
- ・ 栗林均. 1981. 「『*iの折れ』考—蒙古語における*i音の発展の規則性と不規則性」『モンゴル研究』12: 32-49.
- ・ 小沢重男. 1979. 『中世蒙古語諸形態の研究』開明書房.
- ・ 喻世長. 1983. 『論蒙古語族的形成和発展』民族出版社.
- ・ Svantesson, J.O. 1985. Vowel harmony Shift in Mongolian. *Lingua* 67.
- ・ Төмөргогоо, Д. 1992. *Монгол хэлний нтүүхэн хэлзүй үндэс*. Улаанбаатар

社会言語学

- ・ 荒井幸康. 2006. 『「言語」の統合と分離 1920-1940年代のモンゴル・ブリヤート・カルムイクの言語政策の相関関係を中心に』三元社.

- ・ 包聯群. 2011. 『言語接触と言語変異－中国黒龍江省ドルブットモンゴル族コミュニティー言語を事例として－』現代図書.
- ・ 宝玉柱. 2015. 『蒙古語喀喇沁土語社会語言学研究』. 中国社会科学出版社.

類型論

- ・ 風間伸次郎. 2003. 「アルタイ諸言語の3グループ（チュルク、モンゴル、ツングース）及び朝鮮語、日本語の文法は本当に似ているのか——対照文法の試み」アレキサンダー・ポビン／長田俊樹 共編『日本語系統論の現在』日文研叢書 31, 国際日本文化研究センター. 249-340.
- ・ 風間伸次郎. 2022. 『日本語の類型』三省堂.
- ・ 服部四郎. 1959. 『日本語の系統』岩波書店.

参照文法

全般

- ・ 山越康裕. 2022. 「モンゴル語族の文法書」『参照文法書研究』（アジア・アフリカ言語文化研究 別冊2号）. 東京外国語大学アジアアフリカ研究所. 39-72.

モンゴル文語

- ・ Poppe, Nicholoas. 1954. *Grammar of Written Mongolian*. Otto harrasowitz.

モンゴル語ハルハ方言

- ・ Kullman, Rita and D. Tserenpil. 1996. *Mongolian Grammar*. HongKong: jensco, Ltd.
- ・ Janhunen, Juha A. 2012. *Mongolian*. John Benjamins.

モンゴル語内モンゴル標準方言

- ・ 清格爾泰. 1991. 『蒙古語語法』内蒙古人民出版社.